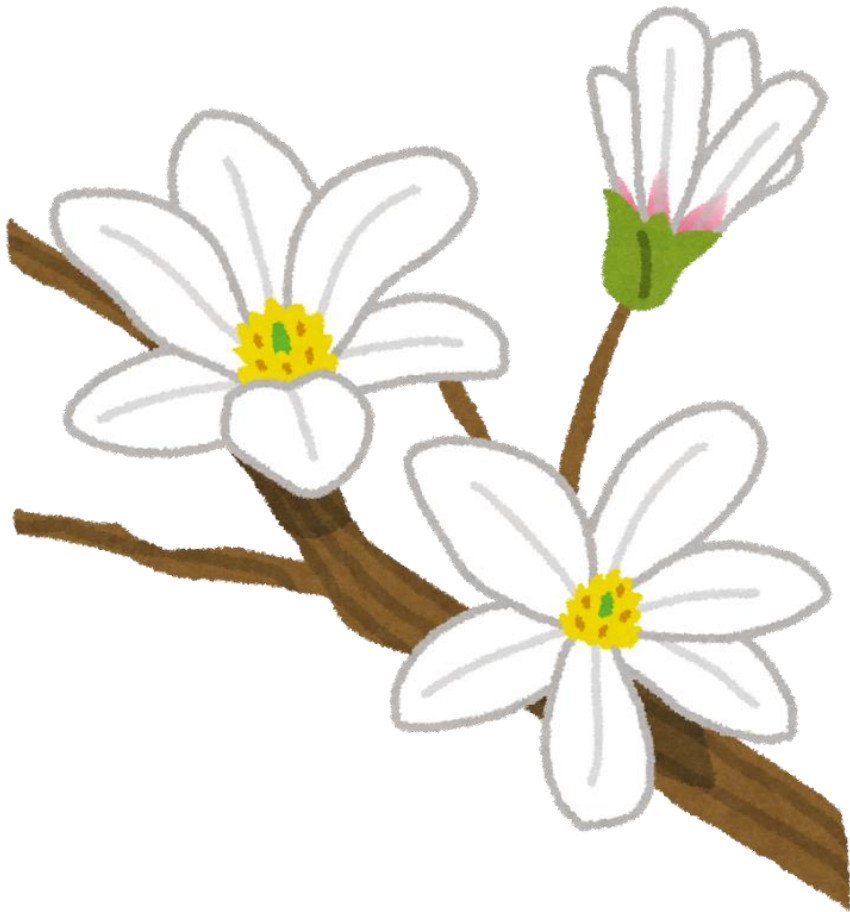


令和8年度

特別支援教室 こぶし

教室要覧



# 武蔵野市立桜野小学校

## I 教室の概要

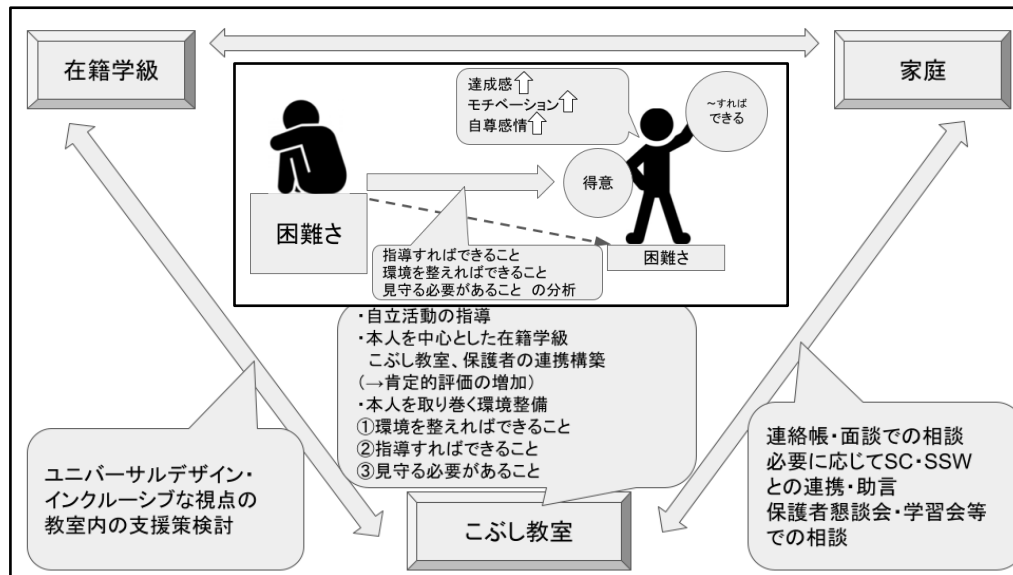
- 1 設置校名 【拠点校】 桜野小学校 【巡回校】 第二小学校 境南小学校
- 2 教室名 特別支援教室こぶし
- 3 所在地 〒180-0021 東京都武蔵野市桜堤1丁目8番19号
- 4 教室形態 特別支援教室
- 5 教職員
- |             |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 【校長】        | 谷川 拓也       | 【副校長】       | 山口 武志       |
| 【担当教員】      | 神川 麻里       | 鷺見 逸美       | 松井 由美 田口 千晶 |
|             | 鏝田 マリ       | 廣瀬 智        | 小林 巧 依田 和哉  |
| 【特別支援教室専門員】 | 富田 孝子 (桜野小) | 萩原 恵子 (第二小) |             |
|             | 池田 知秋 (境南小) |             |             |
- 6 児童数 (令和8年4月1日現在89名)

	桜野小学校	第二小学校	境南小学校	計
学校別児童数	42	16	31	89

## II 特別支援教室について

### ◇特別支援教室の目的

児童が抱えている障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服することによって、可能な限り多くの時間、在籍学級で（他の児童と）有意義な学校生活を送ることができるようになることです。



- 困難さだけではなく、得意なことや少しの支援・配慮があればできることを見出します。
- 「できた」「分かった」という実感を積み重ねながら（実感を積み重ねながら）自尊感情・自己肯定感を向上させます。（できないことを何度も訓練することはしません。）
- 在籍学級での支援策を検討し提案していきます。（教室内環境調整）
- 周りの大人や友達、本人への肯定的な見方やかわりを増やします。

### Ⅲ 対象となる児童

- ・通常の学級に在籍している児童・生徒
- ・知的障害がなく、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害がある児童・生徒
- ・通常の学級での学習におおむね参加でき、一部、特別な指導を必要とする児童・生徒

自閉症	情緒障害	学習障害 (LD)	注意欠陥多動性障害 (ADHD)
円滑な人間関係ができない、周囲の人が考えていることの推測が苦手等の発達の偏りが見られ、一部特別な指導を必要とする児童・生徒	主として心理的な要因による選択性かん黙(※)等があるもので、一部特別な指導を必要とする児童・生徒	聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難があり、一部特別な指導を必要とする児童・生徒	年齢あるいは発達に不釣り合いな不注意や衝動性、多動性の状態等があり、一部特別な指導を必要とする児童・生徒

※選択性かん黙とは、心理的な要因により、特定の状況（例えば、家族や慣れた人以外の人に対して、あるいは家庭の外など）で音声や言葉を出せず、学業等に支障がある状態を言います。

主体的  
できるよ う

#### (1) 自立活動の目標

- ①児童の特性や障害によるつまずきの背景にある要因を的確に捉え、児童が現在行えていることや指導すればできること、環境を整えればできることなどに目を向け、児童の実態に応じて環境を整えつつ、指導内容・方法を工夫することで、児童の自立と社会参加につなげる。
- ②児童が主体的に困難を改善・克服しようとする取組を促し、「できた」「わかった」という実感・達成感を得られるような指導の工夫をする。

#### (2) 教育目標を達成するための基本方針

- ①障害の状態を的確に把握し、在籍校、拠点校、保護者と協議して児童一人一人の特性に応じた個別指導計画を作成し、それに基づいた指導を行う。巡回指導教員と在籍学級担任、保護者、特別支援教室専門員と連携して指導にあたるだけでなく、外部の専門家（巡回相談心理士等）からの助言も活用し児童の実態を把握する①自分自身のよさや強みに気付かせ、肯定的な自己理解を促す。
- ②個別指導と小集団指導と組み合わせて指導を行い、指導の充実を図る。
- ③「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」の6つの項目の中で、つまずきの見られる項目について、認知特性に応じた方法で指導・支援を行う。
- ④児童の状態像の観察に加え、WISC-IVまたはV等の発達検査を活用して認知特性を把握し、より効果の高い 学ぼう方を習得させる。
- ⑤必要に応じて合理的配慮を提供し、児童にとって学びやすい環境を整備する。

### V 指導について

#### ◇指導について

- ・指導時数：1週間に1～2時間決められた時間割で指導を行います。
- ・指導で抜けた時間：出席扱いになりますが、教科の学習のフォローはご家庭でお願いしています。学習内容の詳細は担任と連絡を取っていただきます。

東京都の発達障害教育（令和6年9月）よ

#### ◇指導内容について

- ・特別支援教室では、一人一人の障害の状態や発達の段階等に応じた指導目標を設定して、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導（自立活動）を行います。

※教科の予習・補習や在籍学級での学習の遅れを取り戻すための場ではないため、教科学習の内容を理解することを目的とした教科指導は行いません。

自立活動の区分（下記より指導項目を選定していきます）

- 1 健康の保持
  - 2 心理的な安定
  - 3 人間関係の形成
  - 4 環境の把握
  - 5 身体の動き
  - 6 コミュニケーション
- の6つの中から必要項目を選定して指導を行います。

## 1 指導形態と指導のねらい

こぶし教室では、児童の実態に合わせて、個別指導と小集団指導を行っています。

★どのような指導形態が効果的かは、指導の内容やねらい（指導目標）に応じてこぶし教室で判断します。

例：「友達とのかかわりに困難さがある」ということひとつをとっても、以下のように指導時間と形態は、一人一人違います。

- ・環境の把握に困難さがあるだろうと判断した場合→個別指導 1 時間、小集団指導 1 時間
- ・不安が強いことに原因があるだろうと判断した場合→個別指導 2 時間
- ・人間関係の構築に誤学習があるだろうと判断した場合→小集団指導 1 時間

形態	指導のねらい	活動内容例
個別指導	教員と児童が、原則一対一で活動します。活動内容は児童の実態に合わせて様々ですが、担当教員との信頼関係構築を第一に考えています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の興味に沿った活動（カードゲーム、制作活動等）</li> <li>・自己理解を深め、自分に合った学習方法を身に付ける活動</li> </ul>
小集団指導	3人～5人程度の小集団で活動します。一緒に活動する児童は、それぞれの児童や各学校の実態に応じて、学年に関わらず編成されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや勝敗のあるゲーム</li> <li>・協力して共通の目的を達成するゲーム（ボードゲーム等）</li> <li>・自己理解や他者理解を促す活動</li> </ul>

## 2 入級・退級の手続きについて

### 【入級について】

入級のためには、担任、こぶし教室教員、スクールカウンセラー等における個別の行動観察、校内での会議、市の判定会議（適・可・否判定）などの手順を経て進めていきます。必要な書類として、発達検査や申請書などがあります。まずは、在籍学級担任にご相談ください。

### 【退級について】

入級後、保護者の方からいただいた情報や個別の行動観察の情報をもとにこぶし教室での指導の目標を立てます。当初の指導の目標達成が退級の目安となります。学校・保護者の方との話し合いで合意形成を図ります。

退級となった場合も、学校生活支援シート等を活用しながら教室内の在籍学級担任による支援・配慮を引き続き行っていきます。

★指導期間について：東京都のガイドラインでは、下記のような「原則の指導期間」を定めています。しかし、在籍学級では、武蔵野市の方針とも合わせ、指導の評価を学校と家庭で話し合うことで指導目標をより具体的に明確なものとし、児童の指導を進めてまいります。

### 指導期間の考え方

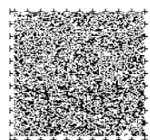


特別支援教室では、一人一人の児童・生徒の障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導目標を立て、在籍学級で学校生活を送れるようになることを目指して指導を行います。また、指導開始後は、十分な評価がされないまま指導が継続されることのないよう、指導の成果を振り返り、指導開始当初の指導目標の達成状況を確認することが重要です。

そこで、学校生活の1年間のサイクルが終了する時点で、必ず振り返りを行うという趣旨で、指導期間を原則1年間と定めています。

なお、必要な場合は、1年間指導を延長し、延長終了時には、改めて支援策を検討し、特別支援教室での指導の継続を含め、児童・生徒の状況に応じた適切な支援を行っていきます。

また、指導目標を達成し、特別支援教室を退室した後でも、在籍学級において、その児童・生徒に必要な支援や配慮を行いながら授業をしていきます。



## 3 巡回指導日

曜日	月	火	水	木	金
子校名	桜野小学校 第二小学校 境南小学校	桜野小学校 第二小学校 境南小学校	桜野小学校 境南小学校	桜野小学校 第二小学校 境南小学校	桜野小学校

\*曜日毎に教員が巡回して指導を行います。指導日以外も、特別支援教室専門員が各校に勤務しています。

#### 4 こぶし教室の主な行事予定

- 1 学期… [学校訪問・行動観察、こぶし教室保護者会、担任ケース会、保護者面談、参観週間、保護者懇談会]
- 2 学期… [学校訪問・行動観察、担任ケース会、保護者面談、参観週間、保護者懇談会]
- 3 学期… [学校訪問・行動観察、担任ケース会、保護者面談、参観週間]

#### VI 学校連絡先

武蔵野市立桜野小学校	武蔵野市立第二小学校	武蔵野市立境南小学校
東京都武蔵野市桜堤 1-8-19	東京都武蔵野市境 4-2-15	東京都武蔵野市境南町 2-27-27
0422-53-5651 (こぶし教室直通) 0422-53-5125 (事務・職員室)	0422-51-4478 (事務・職員室)	0422-32-3400 (事務・職員室)